

## 令和3年度 第2回退院調整担当者会議事録

日時：令和3年12月23日(木)

13時30分～14時30分

場所：豊川市医師会館中会議室

### 1.はじめに

司会：小林

### 2.出欠確認

出席者：21名（会場19名・オンライン2名）

可知病院（近藤→福尾）

欠席者：4名

### 3.議事

#### 1) 報告、情報提供など

##### (1) 医療・介護合同研修会について

「各担当リーダーから研修結果・進捗状況について報告」

##### ①事例担当グループ：木佐貫

11月18日にACPをテーマにオンライン+会場（医師会館中会議室）で研修会を開催し、60名の参加があった。

内容はACPについての紹介の後、実際に関わった事例を基にグループワークを行った。

アンケートは40名が回答され、概ね良かった。ACPについて考える機会になった。普段ACPについて考えていたことがグループワークで共有できたなどの感想があった。グループワークの時間が長めに取れたことが良かったと考えている。

##### ②災害対策グループ：豊田

明日の18時からオンラインと会場（医師会館中会議室）で開催する。

内容は福祉避難所について説明・開設訓練の状況報告・施設、病院、障害者施設に行ったアンケート結果を基に各分野から報告・その中から出てきた不安などについてQ&Aで行政から回答・備えについて報告。盛りだくさんの内容になっている。時間超過が考えられるので今日も調整を行う予定である。報告会の内容の為、今も参加者を募集しているので周知をお願いします。

##### ③認知症グループ：梶田

1月14日（金）18時からオンライン+会場（商工会議所）で開催を予定している。

お手元のチラシにあるが、困難事例を基に事例検討を行う。実際に対応に困っている事例を多職種で共有し話し合う機会とする。又、旅のことはカードを担当者で使ってみた動画上映と市内の取り組みについても報告する。この機会に多くの方に参加頂きたい。

##### ④講演会担当グループ：田口

2月7日(月) 聖隷クリストファー大学の大場先生に豊川市に来て頂き、講演会を行う。  
11月に役員と講師が ZOOM で打ち合わせを行い、テーマなども決めた。方法はオンライン+会場(市民病院)を予定しているが感染状況でオンラインのみになる可能性はある。  
チラシは現在制作中で出来次第、広報する予定。

#### ④PICS グループ：中沼

隅田医師と市民病院のチームが担当する。

まずは、院内周知を目的に12月に研修会を行った。1時間程度の講義内容だが、参加者も多くなく、ICUが中心で院内には周知されていない状況がある。今後は部署訪問を行い、院内での周知を深め、来年度5月頃には研修会を行いたいと考えている。

「オンライン担当者から」

佐藤：昨年度からオンライン(ZOOM)での開催を余儀なくされているが限られた人だけが出来るのではなく、発信する側も体験して身に付けてもらおうと役立つと思う。

平野：ホストをやることが多い。グループワークの運営や機材など試行錯誤しているが、オンラインの場合、グループワークは長めに設定した方が良い。やるたびに課題はあるが、今の所、許して貰えているので改善を重ねている。

司会：オンラインの研修会に出ると映像が途切れることが多いが、退院調整担当者会は上手く出来ていると思う。

#### (2) 医療情報：資料配布

- ①在宅医療実施医療機関について
- ②認知症対応可能な医療機関について
- ③訪問看護ステーション事業所サービス提供内容(豊川市・豊橋市)
- ④在宅医療に関するアンケート調査結果

#### 2) 検討事項

##### ①今年度の目標について

司会：今年度の目標についてそれぞれの研修会等でカバーしているところだと思う。人工呼吸器については今年度、研修会で取り上げていないので出来ていない所は次年度の課題になる。情報交換や電子@連絡帳の活用は県下でもよく使われている方なので良いと思う。

災害に関して明日研修を開催するが、とても濃い内容になっている。

牧野：研修会が明日に迫っているので焦っているが、研修の準備をする中で知らないことも多く気づかされている。人工呼吸器だとか常に電気が必要な方達の現場の声が少しでも伝えられると良いと考えている。

豊田：災害について施設、病院、障害者施設の3分野が連携して話し合っている。行政の方の参加もあり、不安に思うことに回答が得られる内容になっている。避難者の受け入れに備え、交通整理が出来ると良いと考えている。

小林：当院でも11月半ばに電気が使えなくなることがあり、蓄電池を購入して使ってみたがとても便利だと思った。電気がないとギャジベッドさえ下ろすことが出来ない。

平野：来年度になると思うが、ACPについて救急隊と一緒に研修を企画できないか、救急搬送の場面ではACPは身近な問題である為、一緒に考える機会になると良い。

田口：人工呼吸器のパフレットは3年前に作成したが今の会社では知らないというのでもったいないと思う。

ここに参加している人は連携に困らないが研修に参加していない人は連携に困っているのではないかと思う。そのような人も参加出来るようにしていくと良い。

司会：研修会に新たなメンバーが加わってくると良いので研修会の宣伝の仕方も考えていけると良い。

木佐貫：ACPに対してこれまで考える機会がなかったが研修に携わることで学びを深めた。携わる方が増えていけると良い。

司会：この間、豊川市でもACP研修を行ったのでそういうのを視聴するのも良い。まだユーチューブで配信されている。

今後の新型コロナ感染症状況によって変わってくると思うが、入床、転院に関して・面会制限などの対応はどうか、

田口：入床に関しては事前にPCR検査を実施していたが、それによって入居が出来なくなる方はいないように思う。ワクチン証明等があれば、居室で面会可とし、それ以外はロビーで面会している。週に1回は外出可で12月26日までは外食も可としている。しかし26日から1月3日迄は不特定多数の方の出入りが予測されるので外出不可としているが、以前と比べて面会の枠は拡大させている。

佐藤：医療機関で面会を緩めている所はあるか、当院はラインでの面会を行っているが、今後対面での面会が出来るようにと考えている。私の地元の埼玉県でも5分2人迄の面会が出来るようになってきている。

小林：当院でも制限はしているが、体調確認と防護服（エプロン）を着て貰い、対面の面会を行っている。

#### 4.その他

事務局：電子@連絡帳で意見交換や資料の添付が出来、活用出来ている。

研修も皆さん真剣に取り組んでもらえている。研修内容によっては継続が必要だが、切り口を変えると参加される方が変わってくるので多くの方に関わってもらえるように切り口を変えてやっていきたいと考えている。

人工呼吸器のパフレットは市民病院が管理しているが、今年から新人職員に配布している。人工呼吸器に直接関わることがなくても、手に取って知って貰う機会にはなるので希望があれば配布する予定である。

司会：次第に沿って予定の内容は終了した。意見が無いようなので会は終了する。